

国民健康保険 特別会計

質疑

- ①結核・精神医療給付金について問う。
- ②収納率の低下について、どのように考えているのか。
- ③コロナ禍における国保加入者への恩恵はあったのか。
- ④特定健康診査の受診率の向上について問う。
- ⑤データヘルス事業におけるレセプト分析の結果について問う。

意見

- ①保険料が加入者の負担を超えているのは滞納状況から明らかである。コロナ禍のもとで緊急値下げが必要な事態と考える。
- ②値上げに関して、公平公正と云いながら、一定の収入を超えた人は一度も値上げ経験がなく、不公平な税制である。値上げの議論に入らないことを要望する。

下水道事業 特別会計

質疑

- ①下水道施設の耐震化について、どのような工事が行われたのか。
- ②百草落川地区不明水対策工事の内容について問う。
- ③下水道使用料の今までの経過と見直しについて問う。

意見

- 意見はありませんでした。

介護保険 特別会計

質疑

- ①予防給付がわかれて総合事業に移行した後の現状を問う。
- ②介護サービス費について、コロナ禍においての事業所や利用者の実態把握をどのように行ってきたか。
- ③特別養護老人ホームの入所待機者数などの状況を問う。

意見

- 意見はありませんでした。

区画整理事業 特別会計

質疑

- ①区画整理助成金の手続きの流れについて問う。
- ②代行買収について都市づくり公社との話し合いの進捗を問う。

意見

- ①元副市長問題に対する踏み込み方も結果が出たわけではなく、今の状況をもって、改善に踏み込んだという段階ではないと判断する。
- ②区画整理事業の是正と見直しの必要性、代行買収のさまざまな手続き、工事入札をめぐる問題。以上3点を指摘する。

市立病院 事業会計

質疑

- ①コロナウイルス感染拡大による、病床利用率、入院・外来件数、救急受け入れ対応数を問う。
- ②外来の診療単価がなぜ4.2%マイナスになったのか。
- ③コロナに関連した相談や対応について問う。
- ④周産期連携病院としての受入れ実績と見えてきた課題は何か。

意見

- ①元副市長の院長相談役になった経緯などを含めて明らかにしてほしい。
- ②より市民のニーズに合わせて発展できるのかを指摘する。

決算を審査

予算は正しく使われたのか？ 成果をあげられたのか？

一般会計

歳入全般

質疑

- ①被災地派遣職員給与等納入金について問う。
- ②法人市民税の市内事業主の状況を問う。
- ③他の多摩25市と比較した財政状況について問う。
- ④臨時財政対策債の今後の見直しについて問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

- ①学童クラブ民営化についての課題を問う。
- ②教科指導法研究事業について問う。
- ③第三中学校をより魅力ある学校にするプロジェクト経費における、取り組みを問う。
- ④子どもを守る熱中症対策を問う。
- ⑤未来につなぐ創造力プロジェクト経費について、事業内容を問う。
- ⑥体育館環境改善経費において、冷風機、大型扇風機を何台購入したのか。

衛生費・労働費

質疑

- ①プラスチック類がどのように有効活用されているのか。
- ②新生児聴覚検査の実績を問う。
- ③浅川清流環境組合の公害防止協定を作るべきではないか。
- ④資源回収奨励事業の回収状況を問う。
- ⑤乳幼児健診の未受診の理由を問う。
- ⑥段ボールコンポストについて問う。

議会費・総務費

質疑

- ①ハラスメント相談窓口業務委託の相談件数と内訳を問う。
- ②マイナンバーカードの取得者数について問う。
- ③ふるさと納税の流出額について問う。
- ④多世代型スキルシェア推進事業の背景を問う。
- ⑤LGBT理解促進事業について問う。
- ⑥前回選挙の開票作業の終了時間は多摩26市中、何番目だったのか。
- ⑦高幡台団地シェアハウス事業の現況と今後の見直しについて問う。

民生費

質疑

- ①介護人材定着支援事業の概要と、資格取得のその後を問う。
- ②コロナ禍における、高齢者食事宅配サービス事業の傾向を問う。
- ③障害者差別解消促進事業と条例をどのように周知したか。
- ④フードパントリー事業の利用実績を問う。
- ⑤避難行動要支援者対策事業の内容を問う。
- ⑥生活保護におけるケースワーカーの人数と1人当たりの件数を問う。
- ⑦緊急通報システムの現状を問う。
- ⑧ひきこもりの相談件数を問う。

農業費・商工費・土木費・消防費

質疑

- ①（仮称）空き家の学校の取り組みについて問う。
- ②日野駅周辺整備計画基本調査（その3）の内容について問う。
- ③土方歳三没後150年PR事業を終え、今後はどう生かすのか。
- ④無電柱化事業の進捗状況について問う。
- ⑤TOYODA BEERプロジェクト事業の内容について問う。
- ⑥ふれあい橋通行区分アンケートの目的と結果、および今後について問う。
- ⑦農の学校のここ数年の利用者数について問う。
- ⑧台風19号により消費した災害対策用備蓄品で補充したものは何か。
- ⑨程久保五丁目重点まちづくり計画の進捗について問う。

総括質疑

質疑

- ①障害者差別解消推進条例について、各課での取り組みを問う。
- ②新型コロナ感染症拡大の状況下、生活困窮が現実化してきたが、今後の取り組みについて問う。
- ③幼保無償化について、収支の変化、またどのような課題があるかを問う。
- ④財政非常事態宣言を誰に対して発し、どのような効果を狙ったのか。
- ⑤令和元年度決算を通しての感想を問う。
- ⑥台風19号の対応の概要について問う。

解説は『広報ひの』に

令和元年度決算内容の解説は、「広報ひの11月1日号」の2ページから4ページに掲載されていますので、併せてご参照ください。



政治家の寄附は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

これらの行為は全て禁止です!

お中元・お歳暮	入学祝い 卒業祝い	病気見舞い
地域のイベントへの寄付や差し入れ	お祝いの花輪 葬式の花輪・供花	秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い・香典

贈らない! 求めない! 受け取らない!

賛成

今回の決算審議を通し、市の財政運営は、大変厳しい状況にある中で、若者就労支援の事例のような産業振興部門と福祉部門とが、共通課題を通じて、新たな効果を発揮する。そのような部門間に「横串」を指すことで、更なる成果を引き出す、部門の枠組みを超えた取り組みにより、一歩一歩確実な前進を望みます。

歳入について、歳入全体に占める市税の抑制につながる取組を期待します。歳出については、①市全体の価値を高めるために必要な投資に、②幼児保育無償化の経費の確保が、今後の大きな課題②避難所運営など課題はありますが、8千600人の算と知恵で、市の魅力発信とふるさと納税による市税の流出入全体に占める市税の抑制につながる取組を期待します。歳出については、①市全体の価値を高めるために必要な投資に、②幼児保育無償化の経費の確保が、今後の大きな課題②避難所運営など課題はありますが、8千600人の算と知恵で、市の魅力発信とふるさと納税による市税の流出入全体に占める市税の抑制につながる取組を期待します。

反対

決算不認定の理由を3点述べます。
1点目は、第5次日野市行政改革大綱の推進を前提に進められた点です。
2点目は、住民の合意が無いままに可燃ごみの広域処理を強行した点です。
3点目は、市長の財政運営の責任を棚上げし、財政難を市民に印象付ける「財政非常事態宣言」を行った点です。

そのうえで課題について意見を述べます。
①新型コロナウイルスの感染拡大に綱の推進を前提に進められた点です。
2点目は、住民の合意が無いままに可燃ごみの広域処理を強行した点です。
3点目は、市長の財政運営の責任を棚上げし、財政難を市民に印象付ける「財政非常事態宣言」を行った点です。

賛成

令和元年度決算は、歳入・歳出ともに増加しました。今後人口減少、高齢化がさらに進み、税収の減少、社会保障関連経費の増大、公共施設の老朽化に伴う更新費用の増大など、将来に向けて財政状況が一層厳しくなることが予想されます。歳出の主な項目について意見を述べます。
①総務費では、防犯カメラ11台設置

令和元年度決算は、歳入・歳出ともに増加しました。今後人口減少、高齢化がさらに進み、税収の減少、社会保障関連経費の増大、公共施設の老朽化に伴う更新費用の増大など、将来に向けて財政状況が一層厳しくなることが予想されます。歳出の主な項目について意見を述べます。
①総務費では、防犯カメラ11台設置

賛成

令和元年度決算は、経常収支比率が99%に達し、財政難の常態化が強く懸念されます。今年2月には、財政非常事態宣言が発出されましたが、コロナの影響により、税収などの大幅減、セーフティネットなどの新たな財政需要の増加が見込まれます。継続的な活力あるまちづくりが遂行されることを期待します。

令和元年度決算は、経常収支比率が99%に達し、財政難の常態化が強く懸念されます。今年2月には、財政非常事態宣言が発出されましたが、コロナの影響により、税収などの大幅減、セーフティネットなどの新たな財政需要の増加が見込まれます。継続的な活力あるまちづくりが遂行されることを期待します。

意見

一般会計決算の認定に賛成か、反対か ～各会派の総括意見(要旨)

※無会派議員の賛否表明…賛成3人・反対1人

令和元年度 歳入 1,226億2,044万円 (前年度比 2.4%増)
決算額 歳出 1,207億8,031万円 (前年度比 2.3%増)

会計別	歳入 歳出	前年度比
一般会計	715億2,345万円 696億5,108万円	4.9%増 4.6%増
特別会計	510億9,699万円 511億2,923万円	0.9%減 0.6%減
国民健康保険	160億4,494万円 159億8,522万円	3.0%減 2.8%減
土地区画整理事業	34億5,342万円 33億5,015万円	8.9%減 7.4%減
下水道事業	42億1,222万円 41億3,664万円	6.3%減 6.5%減
介護保険	140億3,998万円 139億8,171万円	4.4%増 5.5%増
後期高齢者医療	44億5,975万円 44億4,406万円	2.3%増 2.6%増
市立病院事業	88億8,667万円 92億3,144万円	0.4%減 1.4%減

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。